

藤原宮南面大垣の調査(飛鳥藤原第124次)

2002年10月下旬から12月末まで、高所寺池という溜池の堤防改修工事にもなう調査をおこないました。池の西側を1100㎡にわたって発掘しました。

調査に入ってもなく、六条大路北側溝が見つかり、その後、藤原宮の南面大垣と外濠も確認できました。いずれもほぼ想定通りの位置での発見です。藤原宮の大垣は掘立柱を土壁でつなぎ、瓦葺きの屋根をのせた構造です。外濠からは大垣に葺かれていたと考えられる瓦が出土しました。

さらに内濠と大垣の間でも掘立柱建物を発見しました。内濠に隣接している柱穴が内濠を壊さないように配慮して掘られていることから、この建物は内濠と併存していた可能性が高いと考えます。

一方、外濠と六条大路の間は空地と推定されています。今回の調査でも藤原宮と共存するような遺構は確認できませんでした。

(飛鳥藤原宮跡発掘調査部 小谷徳彦)



遺構全景(北から)